

令和 2 年 度
(2020年度)

決算等審査意見書

多摩川衛生組合監査委員

(写)

多衛組監発第12号

令和3年8月27日

多摩川衛生組合

管理者 高橋 勝浩 殿

多摩川衛生組合

監査委員 渋谷 彰

監査委員 木村 淳二

監査委員 北浜 けんいち

令和2年度多摩川衛生組合一般会計歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定に基づき審査に付された令和2年度多摩川衛生組合一般会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類について審査した結果、次のとおり意見を付します。

目 次

第1	審査概要及び審査結果	
1	審査対象	1
2	審査の実施期間	1
3	審査の手続き	1
第2	審査の結果	1
第3	決算の概要	2
1	決算規模と収支状況	
(1)	決算収支の状況	
(2)	決算額及び収支状況の推移	
2	歳入の状況	3
(1)	歳入決算額の内訳	
(2)	歳入予算と収入済額の状況	
3	歳出の状況	4
(1)	歳出決算額	
(2)	歳出の性質別経費	
(3)	歳出予算と支出済額の状況	
4	財産の状況	6
(1)	公有財産	
(2)	物品	
(3)	債権	
(4)	基金	
5	地方債の状況	8
(1)	借入先別地方債現在高	
6	まとめ	9

* 小数点以下の表示は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し、第1位までを表示した。

* 構成比は、合計が100.0となるよう一部調整した。

* 対前年度増減率において、決算年度及び前年度の対象数値が0のときは、増減率を0.0と表示した。

令和2年度 多摩川衛生組合一般会計歳入歳出決算の審査意見書

第1 審査概要及び審査結果

1 審査の対象

令和2年度 多摩川衛生組合一般会計歳入歳出決算

2 審査の実施期間

令和3年5月18日から令和3年8月26日まで

3 審査の手続

審査は、提出された決算書類が法令に従い調製並びに作成されているか、計算に間違いがないか、支出命令等に符号しているか、収支は適法であるか等に主眼を置き、関係書類の審査、関係職員からの聴取等、通常実施すべき審査手続により実施した。

第2 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算及びその他法令で定める書類は、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されており、かつ証拠書類と照合したところ、計数及び管理並びに保管の状況に誤りはなく、また、事務の執行についても適正に処理がなされていると認められた。

第3 決算の概要

1 決算規模と収支状況

令和2年度 一般会計の歳入総額は、20億2,096万1千円で、前年度と比較すると1億8,345万5千円（△8.3%）の減となっている。歳出総額は、19億3,450万円で、前年度と比較すると1億6,141万2千円（△7.7%）の減となっている。

本年度の歳入総額から歳出総額を差し引いた歳入歳出差引額は8,646万1千円で、翌年度へ繰り越すべき財源はなく、実質収支額も同額となっている。

(1) 決算収支の状況

(単位：千円、%)

区 分		令和2年度	平成31年度	対前年度	
				増減額	増減率
歳入総額	A	2,020,961	2,204,416	△183,455	△8.3
歳出総額	B	1,934,500	2,095,912	△161,412	△7.7
歳入歳出差引額(A-B)	C	86,461	108,504	△22,043	△20.3
翌年度へ繰越すべき財源	D	0	0	0	0.0
実質収支(C-D)	E	ア 86,461	イ 108,504	△22,043	△20.3
単年度収支	F	ア-イ △22,043	△43,436	21,393	49.3
積立金	G	6,109	5,604	505	9.0
繰上償還金	H	0	0	0	0.0
積立金取崩し額	I	0	0	0	0.0
実質単年度収支(F+G+H-I)		△15,934	△37,832	21,898	57.9

注) 積立金と積立金取崩し額は、財政調整基金の額である。

(2) 決算額及び収支状況の推移

(単位：千円)

年度	歳入	歳出	差引額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支
平成30年度	2,296,889	2,144,949	151,940	0	151,940
平成31年度	2,204,416	2,095,912	108,504	0	108,504
令和2年度	2,020,961	1,934,500	86,461	0	86,461

2 歳入の状況

令和2年度の予算現額は20億758万円で、調定額は20億2,096万1千円、収入済額も同額となっており、予算現額に対する収入率は100.7%である。前年度の22億441万6千円と比較すると1億8,345万5千円の減額となった。

(1) 歳入決算額の内訳

(単位：千円、%)

款	令和2年度		平成31年度		対前年度	
	収入済額	構成比	収入済額	構成比	増減額	増減率
分担金及び負担金	1,744,435	86.3	1,649,782	74.8	94,653	5.7
使用料及び手数料	6,105	0.3	5,598	0.3	507	9.1
財産収入	2,174	0.1	1,694	0.1	480	28.3
繰越金	108,504	5.4	151,940	6.9	△43,436	△28.6
諸収入	94,939	4.7	391,241	17.8	△296,302	△75.7
組合債	0	0.0	0	0.0	0	0.0
繰入金	63,800	3.2	3,168	0.1	60,632	1,913.9
国庫支出金	1,004	0.0	993	0.0	11	1.1
合計	2,020,961	100.0	2,204,416	100.0	△183,455	△8.3

(2) 歳入予算と収入済額の状況

(単位：千円、%)

年 度	予算現額	調定額	収入済額	対予算 収入率	対調定 収入率	不 納 欠損額	収 入 未済額
平成30年度	2,260,449	2,347,935	2,296,889	101.6	97.8	51,046	0
平成31年度	2,213,703	2,204,416	2,204,416	99.6	100.0	0	0
平成2年度	2,007,580	2,020,961	2,020,961	100.7	100.0	0	0

3 歳出の状況

令和2年度の予算現額は20億758万円で、支出済額は19億3,450万円、翌年度繰越額はなく、不用額は7,308万円、予算現額に対する執行率は96.4%である。

歳出は、前年度の20億9,591万2千円と比較すると1億6,141万2千円の減となった。

(1) 歳出決算額

(単位：千円、%)

款	令和2年度		平成31年度		対前年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
議会費	6,992	0.4	7,078	0.3	△86	△1.2
総務費	358,976	18.6	401,657	19.2	△42,681	△10.6
施設運営費	1,410,885	72.9	1,397,811	66.7	13,074	0.9
公債費	85,564	4.4	85,563	4.1	1	0.0
諸支出金	8,283	0.4	200,635	9.6	△192,352	△95.9
施設建設費	63,800	3.3	3,168	0.1	60,632	1,913.9
合計	1,934,500	100.0	2,095,912	100.0	△161,412	△7.7

(2) 歳出の性質別経費

(単位：千円、%)

款	令和2年度		平成31年度		対前年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
人件費	226,382	11.7	223,551	10.7	2,831	1.3
うち職員給	169,524	8.8	167,608	8.0	1,916	1.1
公債費	85,564	4.4	85,563	4.1	1	0.0
内 元利償還金	85,564	4.4	85,563	4.1	1	0.0
訳 一時借入金利息	0	0.0	0	0.0	0	0.0
小計	311,946	16.1	309,114	14.8	2,832	0.9
物件費	699,647	36.2	668,652	31.9	30,995	4.6
維持補修費	731,901	37.8	752,106	35.9	△20,205	△2.7
扶助費	1,262	0.1	1,185	0.0	77	6.5
補助費等	117,661	6.1	161,052	7.7	△43,391	△26.9
投資的経費	63,800	3.3	3,168	0.1	60,632	1,913.9
内 普通建設事業費	63,800	3.3	3,168	0.1	60,632	1,913.9
補助事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
単独事業費	63,800	3.3	3,168	0.1	60,632	1,913.9
訳 災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
積立金	8,283	0.4	200,635	9.6	△192,352	△95.9
合計	1,934,500	100.0	2,095,912	100.0	△161,412	△7.7

(3) 歳出予算と支出済額の状況

(単位：千円、%)

年 度	予算現額	支出済額	執行率	翌年度 繰越額	不用額
平成 30 年度	2,260,449	2,144,949	94.9	0	115,500
平成 31 年度	2,213,703	2,095,912	94.7	0	117,791
令和 2 年度	2,007,580	1,934,500	96.4	0	73,080

4 財産の状況

(1) 公有財産

区 分		平成 31 年度末現在高	令和 2 年度中増減	令和 2 年度末現在高	
公有 財産	土地 (㎡)	ごみ	22,366.58	0	22,366.58
		し尿			
	建物 (㎡)	ごみ	31,420.70	0	31,420.70
		し尿			

(2) 物品

区 分	平成 31 年度末 現在高	令和 2 年度中 増減高	令和 2 年度末 現在高
乗用自動車	1	0	1
フォークリフト	2	0	2
純水製造装置	1	0	1
組合旗	1	0	1
無線基地局	1	0	1
混合器	1	0	1
自動床洗浄機	1	0	1
温水噴射式自動部品洗浄機	1	0	1
超音波流量計	1	0	1
合計	10	0	10

(3) 債 権

該当事項なし

(4) 基 金

基金は財政調整基金及び施設整備基金を保有しており、財政調整基金に行政財産使用料及び普通預金利子等を積み立て、施設整備基金には当該基金の運用益をそれぞれ積み立てている。

令和2年度の取り崩し額は、多摩川衛生組合清掃工場基幹的設備改良工事(蒸気タービンロータ)の財源として、一般会計に繰入れたものである。

(単位：千円)

区 分	平成31年度末 現 在 高	令和2年度中増減高		令和2年度末 現 在 高
		増	減	
財政融調整基金	22,594	6,109	0	28,703
施設整備基金	2,621,484	2,174	△63,800	2,559,858
合 計	2,644,078	8,283	△63,800	2,588,561

5 地方債の状況

平成 27 年度及び平成 28 年度に灰処理設備改造工事を行うための財源として借入れした債務について、元利均等払いで償還している。

平成 31 年度末の現在高に対し、令和 2 年度中に 8,470 万円を償還し、令和 2 年度末の現在高は 8 億 9,288 万 5 千円となっている。

(1) 借入先別地方債現在高

(単位：千円)

区 分	平成 31 年度末 現在高	令和 2 年度 発行額	令和 2 年度 償還元金額	令和 2 年度末 現在高
財政融資資金 (政府資金)	782,881	0	67,796	715,085
東京都区市町村振興基金 (東京都貸付金)	194,704	0	16,904	177,800
合 計	977,585	0	84,700	892,885

6 まとめ

主な財源を構成市の負担金としている組合は、負託されている共同処理の事務事業の実現に向け、内容の精査に努め、効率的で効果的な業務執行を行い、構成市の快適な環境衛生の保持に取り組むこと。

一方、ごみ処理施設長寿命化計画をより確かなものとし、長期的なビジョンを確立するとともに計画的で効果的な施設の維持管理に努めること。

今後も監査委員は、職員から施設や機器の説明を聞きながら組合の現状把握を行い、職員のコスト意識の向上や今後の事務改善につながるような監査としていきたい。

については、次の事項に留意し、職員一人ひとりが適正な事務執行を心掛け、一層の費用対効果の視点に立った事務事業を進めること。

- (1) 歳入においては、自主財源の確保に努め、構成市の負担金の抑制に努めること。
- (2) 歳出においては、経費節減に取り組まれ、より一層効率的・効果的な財政運営に努めること。また、年度間の予算の平準化に努めるとともに予算額と決算額の乖離をなくすように予算編成に努めること。
- (3) 事務事業の実施にあたっては、引き続き透明性と説明責任を図り、構成市の市民等に対し、適切な情報提供に努めること。
- (4) 委託・工事等の設計においては、引き続き十分精査を行い、適切な設計金額とするように努めること。
- (5) 組合運営に大きく影響を及ぼす可能性のある契約にあつては、業者選定の際に信用調査を行うなど、より慎重かつ健全で適切な履行の確保に努めること。
- (6) 基金の積み立てについては適時、安全で確実な方法による運用を行うこと。また、将来見込まれる施設整備に係る財政需要に適応した積立原資を確保するための方策を検討していくこと。
- (7) コロナ禍における業務・事業の執行について、その目的を達成するために、従来の方法に限らず多角的に視野を広げ、職務の遂行に努めること。
- (8) 職員にあつては、事業者が実施する業務の履行に際し、最大限に効果が発揮できる環境を整備するとともに業務の質の確保に向け、管理監督能力の研鑽に努めること。

以上の点を踏まえ、安全で安心できるクリーンセンター多摩川の運営に取り組まれるよう要望する。